

第12回 南部地区街づくり協議会 議事録	
開催日時	平成29年9月5日(火) 14:00~16:00
開催場所	4階 特別会議室
出席委員	委員14名
欠席委員	委員2名 中西委員、今西委員
事務局	上田課付課長、岩田課長補佐、島田主査 (プロジェクトチーム) (農林課) 山村課長、色雲係長、(産業振興課) 東次長、米田係長
決定事項	
議事内容	
<p>1. 開 会 -14:00-</p> <p>2. 市長挨拶</p> <p>3. 事務局連絡</p> <p>    前回協議会の議事録及び資料確認。     当日の贈「Sousukeブランド柿の葉茶」の紹介。</p> <p>4. 議 事</p> <p>    以下、議事進行は会長が進める。     (地区内及び市内における取組みについて)</p> <p>    会 長</p> <p>    ・地区内において地域の方々のご尽力により様々なプロジェクトが進んできている。     まずは地区内の全体状況を整理する。 (南部地区活性化プロジェクト全体整理)</p> <p>    事務局</p> <p>    ※資料「第12回南部地区街づくり 全体整理資料」により地区内のプロジェクトや地域の取り組み等について説明。各事業の具体内容については以降の議事で説明。 (黒塚古墳分科会の実施報告)</p> <p>    事務局</p> <p>    ※資料P1~2「黒塚古墳周辺エリア案内表示検討」により説明。</p> <p>    ・黒塚古墳周辺エリアの魅力の活かし方や課題解決に向けて、地域で活動されている団体の代表者を集まっていただき、これまでに2回の検討会を開催した。その中で、エリアへ来られた方に対する案内不足という課題が大きいとの意見があった。これは本協議会においても意見をいただいていた内容。まずは黒塚古墳の存在をしっていただくこと、駐車場に車を停めていただくことを重視し、車の往来が多い黒塚古墳展示館駐車場の169号沿いの看板を整備することになった。現状の看板は景色に埋もれてしまっているため、ドライバーからの視認性が良くシンボリックな</p>	

デザインのものが良いとの意見をいただいている。また、市では駐車場を周辺観光にも使用してもらえればと考えており、山の辺の道や周辺施設の名称を入れる方向で調整している。文字情報はあまり必要なく、市営や無料といった情報を入れることで利用しやすくなるのではといった意見もあった。

- ・これに加えて、駐車場から黒塚古墳へ至る住宅街の動線上や柳本駅からの動線上にある柳本公園入り口など、予算の範囲で可能な限り整備する。また、地域住民と県の連携で作成された「まちづくりマップ」を活用し、現在地と周辺資源を確認できる広域マップを設置したい。
- ・市全体でブランディングを進めており、整備に当たってはブランディングプロデューサーの graf の服部氏にも相談をしながらデザイン等を決定し進めていきたい。

#### 委員

- ・169号沿いのコンビニの奥に駐車場があること、また、黒塚古墳があることを知らない方が多いので大変良いことと思う。

#### 委員

- ・人は地域の特徴に目的があって車を止めると思うので、この地域の入り口論としての魅力や訪れる目的をはっきりさせなければならないのでは。例えば、景観が良いことや住職の話が面白いなど。目的がなければ目立つ看板を建てても通り過ぎてしまう。看板を検討すること自体は大変重要だと思うので進めてもらってよい。

#### 委員

- ・黒塚古墳の存在をPRすることは地元としても大変ありがたい。このような計画があることを地域の自治連合会にも共有しておいて欲しい。

#### 事務局

- ・分科会には、自治連合会長も参画いただいているが、改めてご説明をする機会を設けたい。

(地域農産品等を活用した加工品開発について)

#### 事務局

※資料P3～8「天理ブランド商品及びPR」により説明。

- ・以前より市で進めているブランディング事業に関連して、地域団体や事業者の方々と商品開発を行ってきた。本日もご出席いただいている南檜垣営農組合では、生産されている青大豆を使った豆乳のパッケージ開発と商品化をしていただいた。

#### 事務局

- ・本市のブランディングプロデューサーである服部滋樹氏との協同で、市のブランディングとして統一的なイメージを作り上げるというコンセプトのもと、天理ブランドロゴを検討し、これを軸としてコンセプト映像やタブロイド紙を作成した。これに併せて、地域の恵みを発信するため、昨年度に3事業者と協同でブランド商品づくりを進めてきた。手元の資料はその商品の成果物。今年度においても新たに3事業者とモノづくりを開始している。
- ・資料P7～8は、出来上がってきた商品のプロモーションとして実施した大阪梅田の商業施設や東

京まほろば館でのPRイベントの様子。各事業者にも参加いただき、実際に手に取って商品の良さや魅力を感じていただくことができた。

## 委員

- ・当農組合は設立して11年目になるが、8年ほど前から奈良県では珍しいアヤミドリという品種の青大豆の栽培を始めた。一般の大豆に比べて甘みが強いのが特徴。これを活かした何か面白い商品ができないかということで今回取り組んだ。我々は加工所を持っていないので市内の豆腐屋とコラボレーションで商品が出来上がった。
- ・ブランディングプロデューサーにはパッケージデザインを検討いただき、「山と田んぼとお年寄り」と若者が暮らす」という我々の地域にぴったりのイメージでロゴマークも考えていただいた。現在は凍らせたわらび餅に青大豆のきな粉をまぶした商品を試作している。今後も是非このロゴマークを入れる商品開発に取り組んでいきたいと考えている。

(柿の葉活用プロジェクトについて)

## 事務局

※資料P9～10「柿の葉活用プロジェクト」により説明。

- ・本市の特産品である柿については、高齢化等により生産者が減少し放棄園が問題となってきた。この対策と山の辺の道周辺の景観維持を目的として、柿の葉自体を栽培し活用するプロジェクトが柳本の地域主導で進められている。柿の葉寿司の平宗と連携し、昨年度は8件の農家が取組みだところ。今後は販路の拡大も含めてプロジェクトを進めていきたい。
- ・ご協力いただいている平宗の平井氏が新たに会社を立ち上げられ、乙木町で事務所を構えられた。柿の葉を使用したお茶やペースト、入浴剤など、加工品開発に取り組んでおられる。

## 会長

- ・地域や民間事業者の皆様が主導で様々なプロジェクトを進めていただいております。市としても協力と応援をしていきたいと考えている。

## 委員

- ・青大豆を使った豆乳は様々な商品に活用できると思う。保存期間を延ばすことができればシーズンによってアイスクリームやキャンディーなど。民間でやる場合はビジネスとして成り立たなければならぬので、販路やPRなどについて行政がバックアップできれば良いと思う。

(トレイルセンターの現在の状況)

## 事務局

※資料P11「トレイルセンターの状況報告」により説明。

- ・皆さんご存知かと思うが、新たにオープンしてからかなりの賑わいを見せている。4月～6月の来館者数は約1万2千人。これは以前に比べて倍の数字。休憩や食事、お土産を買うなどで大変多くの方が訪れている。
- ・指定管理者にはトレイルセンターの本来の業務に加えて、自主的な活動も多々していただいている。津軽三味線の生演奏や夏祭りの打ち上げ花火の鑑賞会、古墳の魅力を伝える展示会など。

市また地域の魅力をPRするとともに、地域の盛り上がりにも繋がっていくと考えている。

- ・トレイルセンター向かいの英国カフェ kurinoki でも夜の音楽ライブなど、新たな時間帯での賑わいを創出していただいている。

#### 委員

- ・これからの行楽シーズンではますます訪れる人が増えてくると思う。軒先で野菜を少し売っていただいているが、週末などに大きくマルシェのようなことを企画してはどうか。

(柳本駅舎の利活用について)

#### 事務局

※資料P12～14「JRと連携した柳本駅舎利活用について」により説明。

- ・万葉まほろば線沿線の無人駅の利活用を進められているJRより、柳本駅舎の利活用について打診があった。市へ駅舎建物を譲渡し、地域の活性化や交流拠点として役立てられないかとのこと。
- ・先行事例としては、JR関西線の笠置駅が既に改修済み。京終駅は現在設計段階とのこと。
- ・市では以前より柳本駅舎の利活用について検討をしてきた。地域からは西口改札の設置等利便性に関するご意見を古くからいただいていたので、今回の提案に合わせて再度JRに打診をしている状況。JRとしては駅舎の利活用と西側整備は一体的に行う必要があるとのこと。

#### 委員

- ・以前に地元の団体が拠点として利活用したいとの動きがあったが、電車の運行に関する機器があるとのことで実現しなかった。条件面や制約についてもJRと協議する必要があると思う。

#### 委員

- ・無人駅になったということは利用者が少なくなっているということ。利用者の数など実態の調査をするべきではないか。JRが無人駅を活性化したのであれば、整備までしていただいて地元が利用させてもらうという方法もあるのでは。

#### 会長

- ・これまでであれば安全面の確保等の理由から駅舎の利活用はハードルが高かった。今回はJRからのご提案ということで前向きに考えていければと思うが、改修費用や以降の維持管理、運営面をどうするか課題があるため慎重に協議をしていきたい。
- ・ここまで地区の活性化プロジェクトの動きについてご説明をさせていただいたが、全体で何かご意見等はいかがか。

#### 委員

- ・活性化プロジェクトということで当初から様々な進めてきていただき、成果の集積が出来上がってきたという印象。今後は各プロジェクトにどのような個性を持たせていくか、魅力をどのようにPRしていくかが重要になってくる。また、拠点や観光資源へのアクセスについても手法を検討していければと思う。

(トレイルセンター周辺エリアの観光駐車場整備について)

#### 会長

- ・先ほど全体整理のなかでもご説明したが、本市トレイルセンター周辺エリアで様々な動きがあるなか、来訪する車の数が急増しており、特に上長岡の住民の方々には大変ご迷惑をおかけしていると認識している。これらを解消するため、付近で駐車場を確保できないか検討しているところ。地元としっかり協議をさせていただいた上で進めていきたい。

#### 委員

- ・上長岡住民としては車の渋滞で大変困っている。そのような整備をしていただければ大変ありがたい。

(ならコープと連携した買物支援対策)

#### 事務局

※資料P15「買物支援に関する取組み」により説明。

- ・前回の協議会でならコープへ移動販売箇所の拡大について打診している旨ご説明したが、ならコープより3号車の導入が決まったとの連絡をいただいた。校区とも協議をさせていただきながら追加販売箇所の協議を進めている。民間企業の取り組みであるので、営業可能な範囲で拡大していただけるようお願いしており、11月頃からは既存の柳本3ヵ所に加えて、10数か所の追加運行が始まる予定。

#### 会長

- ・朝和地区は九条バイパスが完成すれば一定アクセスは改善させるかと思うが、車で買い物に行けない場合は、実際に見て買うことができる移動販売は重宝されるのではと期待している。民営事業として採算がとれるかどうか、また、地域のニーズのある個所について、ならコープと校区と協議していきたい。

#### 委員

- ・既存の柳本の箇所について、まだ知らない方もいるのもっとPRをすれば人が増えるのでは。

#### 委員

- ・本協議会の委員に就任した際に、買い物に困っている方がおられるとの相談をした。今回、買物支援としてこのようなプロジェクトを進めていただき大変ありがたい。朝和は本当に買い物をするところがなくて困っている。以前は商店があったがすべてなくなってしまった。ニーズは確実にあると思うので皆さんにしっかり周知して進めていただきたい。

(長柄運動公園体育館の整備について)

#### 事務局

※資料P16「長柄運動公園内総合体育館の整備」により説明。

- ・長柄運動公園の体育館は若草国体の際に整備され、老朽化が進んでおり大規模な改修が課題となってきた。この度、国が進める地方創生拠点整備交付金を活用し付加価値を付けて整備をすることになった。
- ・玄関を入れて正面の現医務室のスペースにはスポーツ関連商品や市内の産品を販売する常設の物販スペース、ロビーの壁面にはボルダリング壁を新たに整備する。その周囲にはコミュニケーション

ヨンスペースとキッズコーナーを設ける予定。温水シャワーやロッカールームの再整備、トイレの洋式化を考えている。アリーナについては、床の補強工事によりプロバスケットの公式戦を行えるようにする。壁にはクッション材を設置してフットサルにも対応する。これらの機能を十分に活用いただくため、ソフト事業として様々なスポーツ教室等の実施も検討している。現在設計の段階に入っており、工事業者を選定の上3月末の完成を予定している。

#### 委員

- ・アリーナの使い方の一つとして、行政や企業等の大きな会議イベントを誘致してはどうか。

(じゃんじゃん市の開催について)

#### 委員

- ・毎年11月3日に日程を決め、長柄運動公園でじゃんじゃん市を開催している。昨年は約7千人の動員があったが、駐車場の不足が大きな課題となってきた。市や奈良県警にも協議し、今年は施設東側の4車線道路を通行止めにして歩行者天国と物販スペースにすることになった。地元の企業や住民の理解があって実現できた計画。これまで主要会場としてきたグラウンドを駐車場とすることで課題を解決できる。
- ・今年もあったかもんグランプリを開催する予定なので、皆様方のご協力もお願いしたい。

#### 会長

- ・市内でも最大規模のイベントであり、市内はもちろん近隣市町村からの出店・来場もかなり増えている。歩行者天国は様々にハードルがあったと聞いているが、実行委員会や地元の皆様の意向と熱意があって実現した。地域が作る地元参加行事の大変良い事例。素晴らしい形で進めていただき大変ありがたい。

(柳灯会 in コフファンについて)

#### 事務局

※資料P17～18「天理駅前広場における地区PR」により説明。

- ・毎年、柳本もてなしのまちづくり会が黒塚古墳周辺で実施されている「柳灯会」について、その魅力と実施のPRを目的として、8月26、27日の土日に天理駅前広場でイベントをしていただいた。新たにオープンした天理駅前広場は市の玄関口として他地区とつなぐことを目的の一つとしており、地域のイベントを人が集まる駅前PRしていただく初めての取り組みとなった。

#### 委員

- ・通りがかった方からは、実際の古墳上で行われることに対する驚きや、幻想的で是非行ってみたいとの声も聞かれた。現地まではJRで2駅と説明することもでき、イベント当日に向けて大変良いPRになったと思う。来年も是非実施したいと思う。

(国民文化祭オープニングでの紅しで踊りの披露について)

#### 事務局

※資料P17～18「天理駅前広場における地区PR」により説明。

- ・全国国民文化祭が今年度は奈良県で実施されることになり、そのオープニングイベントが天理駅

前広場で実施されることになった。その中で、市の伝統行事として毎年大和神社に奉納されている「紅しで踊り」を保存会の皆様に披露していただくことになった。実際の紅しで踊り、また、大和神社へも足を運んでいただくきっかけになればと考えている。

(他地区での特徴的な取り組みの紹介)

### 事務局

※資料P19～20「天理駅前広場における地区PR」により説明。

- ・市内では、天理駅前周辺地区をはじめ、福住校区を中心とした高原地区、櫛本校区を中心とした北部地区で様々なプロジェクトが進んできており、中でも特徴的な事例についてご紹介させていただきたい。
- ・北部地区「マチカ塾」について、新しくなった櫛本公民館の自習室を活用して、“子供たちが自分で学ぶ力を育てる”をコンセプトに、地域住民や小学校の先生が協力して放課後学習塾を始められた。子供たちはこの塾に通うことでもらえる地域ポイントを貯めることで、自分の夢の実現を支援してもらえる仕組み。将来なりたい職業の方との体験などを検討されている。
- ・高原地区の「長い滝復興プロジェクト」について、長滝町の名前の由来にもなっている長い滝及び周辺環境を整備し、源流体験などができるように整備を進められている。また、山田地区では新たに直売所を地域で整備され、高原地区の新鮮な野菜などの販売を始められたところ。

### 会 長

- ・以上の事例は地域の新たなモデル取り組みと言える。是非、市内の他地区へも広げていければと考えている。皆様におかれても検討をお願いしたい。

## 6. 次回の日程と主な協議内容

次回第13回協議会は状況を見て調整。事務局より改めてご連絡させていただく。

## 7. 閉 会 —16:00—